

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（433）
2. 日 時：令和5年1月12日 10時00分～12時10分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江崎企画調査官、宮本上席安全審査官※、
藤原主任安全審査官、三浦主任安全審査官、秋本安全審査官※、
伊藤安全審査官、日南川技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他9名

原子力事業統括部 原子力安全推進グループ（担当課長）※、他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 防潮堤の構造成立性評価方針について（指摘事項に対する回答を含む）
- （2）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- （3）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁藤原です。それは時間になりましたのでヒアリングを始めたいと思います。泊発電所3号炉の防潮ての構造成立性評価方針についてこれについての説明の方、北海道電力の方からお願いします。
0:00:16	北海道電力の高橋です。本地 I I は午前中に傍聴て、の構造成立性で午後からは耐津波設計のご説明をさせていただきたいと思います。
0:00:29	本日の防潮てに関しましては、構造成立性評価方針ということでその内のセメント改良度の線形物性の考え方、止水目地に関する検討の方針、
0:00:44	のうちアンカーボルトオービの性能試験の妥当性等々についてご説明をさせていただきたいと思います。本日の説明は、松本の方からお願いします。
0:00:57	北海道電力の松本がまずご説明させていただきます。まず表紙のタイトルについてですけども、防潮ての構造成立性評価方針についてということでタイトルを修正させていただきました。
0:01:10	本資料において説明する内容が設置変更許可段階における構造成立性の評価方針であることがわかるようにタイトルを修正させていただきました。
0:01:19	2 ページをお願いいたします。
0:01:23	2 ページにおきまして目次を記載しておりますが前回資料から構成は変更しておりませんが、目次のうち、7 ポツの設置許可段階における構造成立性評価に係る基本方針というところで、
0:01:37	設計変更計設置変更許可での方針及び工事計画認可段階での方針を整理しまして、各段階で何を説明する予定なのかというところをこちらで整理させていただきました。
0:01:50	では資料の方のご説明に移らせていただきます。まず指摘事項の回答を千葉の方から説明させていただきます。
0:02:01	北海道電力の千葉です。5 ページをお願いいたします。
0:02:07	こちらのページからは審査会合における指摘事項 N o. 2324 に対する回答を整理してございます。前回ヒアリング主前回ヒアリングからの変更箇所を赤字で示しておりそこを中心にご説明させていただきます。
0:02:22	で、回答の概要へと下の黄色のテキストボックスに A と書いてございまして、二つ目の丸、指摘事項 N o. 23 について、アンカーボルト B の性能試験は、各種合成構造設計指針を、
0:02:35	参考に実施し、試験体の作成にあたっては、破壊形式がアンカーボルト B の降伏になるよう、仕様を設定する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:42	指摘事項No. 24について、アンカーボルトの規格コウフテン以上の耐力を獲られた場合は、規格降伏点の強度を用いて、アンカーボルトBの影響引張力と許容せん断力を設定する計画であります。
0:02:55	ただ、アンカーボルトBの性能試験の試験結果を踏まえた影響限界を含む設計の考え方については、今後設置変更許可段階でご説明させていただきたいと考えてございます。
0:03:07	続きまして、7ページをお願いいたします。
0:03:14	こちらの7ページでは、アンカーボルトBの設計で参考とする指針の説明の一部として、セメント改良版へと質問背後試験結果出られた強度と、
0:03:25	コンクリート標準示方書の関係式を用いて算出した強度の比較表を整理してございます。下の絵と左下の表になりますけれども、真ん中の列、
0:03:34	セメント改良度の質問配合試験で獲られた強度を圧縮強度引張強度せん断強度を示してございます。
0:03:41	対しまして右の列にコンクリート標準示方書の関係式を用いて三種算出した、セメント改良度の影響度を記載してございます。
0:03:52	こちらの二つの数字を比較しますとわかります通り、セメント改良度の室内配合試験でやられた引張強度とせん断強度は、コンクリート標準示方書の関係式を用いて算出した値と概ね同じであることを確認したことから、
0:04:07	セメント改良度は、コンクリートと類似した特性があり、アンカーボルトBの設計は、各種合成構造設計指針を参考に、実施することを考えてございます。
0:04:18	続きまして8ページ、お願いいたします。
0:04:24	こちらのページでは、アンカーボルトB-Aと設計する上での破壊形式の考え方を記載してございます。
0:04:31	アンカーボルトBは頭突きのアンカーボルトを採用することを考えてございまして、下の表に各種合成構造設計指針を参考に、頭つきアンカーボルトの耐力を決める下手会計式を参考して、
0:04:44	下階形式を整理してございます。
0:04:47	表の左側に、アンカーボルトBの引張耐力を決めるは会計士をまとめてございますが、アンカーボルトBの降伏と、根性破壊二つの破壊形式が生じる可能性があると考えてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:59	に對しまして右側にせん断強度を決める破壊系試験を書いてございまして、アンカーボルトBの降伏えとシアツ破壊根性破壊の三つの破壊形式を整理してございまして。
0:05:13	で、衛藤上野黄色テキストボックスの丸の三つ目、アンカーボルトBの定着部につきましては、各種合成構造設計指針を参考に、
0:05:23	靱性がある破壊形式である、アンカーボルトの降伏で支配される上がり形式となるように、設計する計画でありますことから、四つ目の丸、アンカーボルトBの性能試験は、赤い型式が、
0:05:35	アンカーボルトBの降伏となるように計画することを考えてございまして。
0:05:41	続きまして、10 ページをお願いいたします。
0:05:49	こちらのページでは、さ参考にする指針の適用範囲として各種合成構造指針の適用範囲と、アンカーボルトBの仕様の比較表を載せてございまして。
0:06:00	で、表に記載の通りセメント改良度の設計基準強度が各種合成構造指針の適用範囲外であることから、セメント改良を用いたアンカーボルトBの性能試験を実施して、供用値を設計限界を設定することを考えてございまして。
0:06:15	なお、各種合成構造設計指針は、アンカーボルトの設計に関して、無菌コンクリートへと試験条件としている論文を参考文献にしていることから、物品コンクリートに対しても、
0:06:26	適用性はあると考えてございまして。
0:06:31	続きまして 11 ページ、お願いいたします。
0:06:37	こちらのページでは、アンカーボルトBの性能試験計画を示してございまして。アンカーボルトの性能試験では、セメント改良度に、アンカーボルトを固定した試験体に試験荷重を作用させて、
0:06:48	アンカーボルトの体力と、破壊形式を確認いたします。
0:06:53	で三つ目の丸、試験体の作成に関する確認項目は左下の表の通りとなっております。試験時には、セメント改良度の圧縮強度と、引張強度、
0:07:05	をΣ91 日強度で確認することを考えてございまして。
0:07:10	四つ目の丸、試験の結果は会計式がアンカーボルトの降伏となって、アンカーボルトの規格降伏点以上の耐力が獲られた場合は、規格降伏点の強度を用いて、アンカーボルトBの許容限界を設定することを考えてございまして。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:26	指摘審査会合における指摘事項に対する回答のご説明としては非常になります。
0:07:34	引き続き北海道電力の松本が、本編資料をご説明させていただきます。30ページをお願いいたします。
0:07:44	ちょっと資料の30ページにおきましては標準部の設計フローを示しておりますが、こちらの赤マルの三つ目で、津波時の標準分において3次元評価を実施する理由について記載をしております。
0:07:59	合わせて32ページの方におきましても端部の設計フローを示しておりますがこちらでも、参事、こちらでは二次元動的解析で評価いたしますがその理由を簡単に記載をしております。
0:08:13	続いて34ページをお願いいたします。
0:08:18	34ページにおきましては、構造成立性評価自身はの選定に関する内容について赤字で補足をさせていただきました。こちらでは構造成立性評価断面位置の前面位置における地盤モデルを用いた1次元波動論による地震応答解析の応答結果から、
0:08:37	防潮底で発生するせん断応力、変位等を考慮して選定するというふうに具体的に実施する内容を追記させていただきました。
0:08:47	36ページをお願いいたします。
0:08:52	36ページ及び37ページにおきましては、第5条の耐津波設計方針における漂流物に関する説明と、差異がないように車両の評価方針について記載をしております。
0:09:04	37ページ目においても、耐津波設計方針で説明し得る内容を反映しまして、防潮での評価における漂流物荷重の設定方針について整理をしております。
0:09:21	続いて64ページをお願いいたします。
0:09:28	64ページにおきましては、ばらつきの考え方の表の右端の表を追加しております。セメント改良度の背後のばらつきを検討する際に地盤改良系の指針に照らし合わせた検討も行っておりましたのでそれがわかるように参考として右端に、地盤改良系の指針に基づいた時に
0:09:48	背後共同の考え方を追記しております。
0:09:57	続いて75ページをお願いいたします。
0:10:04	75ページの右下の施設区分の整理表になりますけども、前回高強度部という部位は特出しをしておりましたが、今回高強度部というふうの一つの部位として項目出しをし、
0:10:20	役割、また評価方針については以降のページで再整理をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:25	高強度部につきましては主な役割として堤体高さの維持、セメント改良度の健全性を維持するために漂流物荷重を分散するといった役割に期待すると。
0:10:36	いうことを記載しております。
0:10:41	続いて 83 ページをお願いいたします。
0:10:47	83 ページの表の下、※1 の後半部分になりますが、セメント改良度、あと高強度部につきましては滑り安全率基本的に評価をする方針であります、
0:10:59	なお書き以降のところ、各要素の局所安全率についても確認し、破壊領域が広範囲に連続せず道水みちが生じないことを確認するといったところを記載させていただいております。
0:11:19	続いて 86 ページをお願いいたします。
0:11:26	86 ページの黄色囲みの下の※書きになりますけれども、現在高強度部と、セメント改良度のアンカーボルトの使用について、
0:11:37	記載をしておりますが、高強度部に設置するアンカーボルトの成立性は、止水目地コンクリートに設置するアンカーボルトBと同じ仕様で確認中であると。
0:11:48	参加ボルトBと異なる仕様に変更する場合は、追加試験の必要性、必要性等を、設計及び工事計画認可段階で検討するというふうな記載を追記しております。
0:12:06	続いて、97 ページをお願いいたします。
0:12:12	97 ページにおきましては、構造成立性評価断面候補の整理をする際の観点を整理しております、前回の資料におきましては、②の間設置する設備の有無というところで、
0:12:25	津波監視設備の監視カメラの、まだ詳細な設置位置が、まだ未確定であるということからなすと、表記をしておりましたが、設置する方針には変わらないということから、
0:12:36	こちらの表記を見直しております。
0:12:40	※整理結果の方で津波監視カメラの設置による膨張での構造成立性への影響はないと考え候補断面の選定は不要としたとしておりまして、
0:12:51	下の※2 で理由を記載しておりますが、
0:12:55	津波監視カメラは防潮てに対して非常に軽量であるので、津波監視カメラの設置による膨張での構造成立性への影響はないと考えるということからこのような理由で選定は不要としております。
0:13:11	続いて 102 ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:18	こちらでは包丁での構造成立性評価断面の選定結果の整理をしているところでございますが、表中に、④の周辺状況のところ、
0:13:29	参考として岩盤の傾斜及び岩級を記載を追記しております。
0:13:35	この観点につきましては、包丁での基礎地盤の安定性評価に関わる影響する観点と考えておりますので本資料では参考という記載としております。
0:13:47	※4において、岩盤の傾斜岩級膨張での幅に着目した断面選定は、基礎地盤の安定性評価に係る観点であることから、
0:13:57	基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価において説明すると。
0:14:02	なお膨張での幅は設置位置によって異なることを想定しており現在検討中であるといった旨を記載しております。
0:14:13	続いて 105 ページをお願いいたします。
0:14:19	105 ページにおきましては、包丁で背面の動圧を整理した分資料となっております。前は静止度圧で比較をしていたんですけども、今回は背面が液状化することを想定して、
0:14:34	動圧を算定して非整理をしたものとなります。赤丸の三つ目ですが、防潮にて作用する動圧は、事前今後処理工法技術マニュアルを参考に、
0:14:45	埋戻度の液状化を考慮して評価しております。その結果の値が下の表の③に記載はしておりますが、
0:14:55	液状化を考慮した動圧を、
0:14:58	動圧で比較した場合においても、2-2 断面ロクロク断面が、7 断面の脱よりも大きいということから、背面、
0:15:09	7 断面は選定しないという方針に変更はないという整理です。
0:15:22	続いて 130 ページをお願いいたします。
0:15:38	103 瓶 10 ページにおきましては、膨張での背面に存在する岩盤の影響について、どのように評価していくのかというところを整理した説明となります。
0:15:50	都丸の二つ目ですが、2 次元 FEM 解析における、岩盤と丹波端部コンクリートの境界面のジョイント要素は、標準部と同様に設定します。
0:16:01	赤尾瑛也、矢羽根の一つ目ですが、境界面の接線方向において、接触する要素のうちせん断強度が低い方の強度で抵抗すると。
0:16:12	ということでこの場合は岩盤の方が強度が低いと考えてますので岩盤の方で設定すると考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:18	矢羽根の二つ目ですが、境界面の法線をここに置いて、岩盤と端部コンクリートの付着力は、保守的に考慮しない、引張には抵抗しないといった制定で考えております。
0:16:31	丸の三つ目ですが、上記の通り設定することにより、2次元FEM解析において背面に存在する、岩盤の押し出しによる影響を保守的に評価できると考えております。
0:16:42	このような評価方針で評価をしていきたいと考えてございます。
0:16:50	続いて136ページをお願いいたします。
0:16:58	136ページにおきましては、端部の端部の模裕度に関する考え方でございますが、設置変更許可段階で端部の形状は確定法、
0:17:09	させる、
0:17:11	させますが、設計及び工事計画認可段階において、地震動並びに漂流物荷重が上振れした場合においても、右下の図面に示す通りせん断機や、
0:17:24	グラウンドアンカーの設置による裕度向上対策を実施することで、背面の事案を含む膨張で端部の形状を変更するなく、対応が可能であると考えているところを追記させていただきました。
0:17:41	続いて156ページをお願いいたします。
0:17:47	こちらで冒頭でもご説明させていただきましたが、設置変更許可段階における方針と設計及び工事計画認可段階における方針を、156ページ以降に整理をさせていただいております。
0:18:01	本資料中に設置許可段階及び工認での方針が変わつ各所に記載がありますので、改めてこちらの表の7章のところで整理をさせていただいたところです。
0:18:15	今回の当資料についての説明は以上となります。
0:18:22	はい、規制庁藤尾ですそれでは質疑に入りたいと思いますがまずは止水目地関係課長質疑に入りたいと思います。
0:18:30	8ページをちょっと開いてください。
0:18:35	八、九、10棟、11とずっと書いてあってまずちょっと一言言います8ページについてはと言っている意味がわかりません。
0:18:46	ロジックが極めてよくわかりません。ちょっとくどくど言うのはあれなんで、まず、
0:18:51	そもそもなんですけど北海道電力は、止水目地のアンカーボルトに関する許容限界は、一つを使うのかそれとも、
0:19:01	幾つか選定例えば一つというのとアンカーボルトBに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:05	必須に決めるなのか、それとも、VBに加えて今破壊だとか、白坂伊田とか、いくつか定めるのか、これって今どっちを選ぼうとしてるんですかねそこをまず言ってください。
0:19:29	北海道電力の千葉です。許容限界につきましては、今、アンカーボルトの降伏でHead支配される背景式となるように設計することを考えてございますことから、教育委員会についてはアンカーボルトの降伏
0:19:43	の出力を設定することを、今現在考えてございます。規制庁城です。わかりました。そしたらですねちょっと私が今から言うのは、なぜそのじゃあ三つあるうちの一つに選んでいいんですかっていうのが、
0:19:58	ロジックが今ないです。今多分ですね北海道電力が言おうとしてるのは、何だっけ、建築の各種合成指針。
0:20:08	の適用範囲だからOKってちょっと言ってるんだけど、
0:20:12	本当そうなんですか。
0:20:14	ていうところをちょっとわかりません。要はロジックが足りませんで、
0:20:19	これって私の理解だと、
0:20:22	まず、幾つかの破壊形式があって、
0:20:26	例えばですね懇話会、引っ張りに限定すると、
0:20:30	懇話会っていうのは、アンカーボルトBに対して、すごい、何か融度がある。いや今日、もともとのおんこは狩野協議会あるじゃないですか。それに対して引っ張り、
0:20:41	アンカーボルトの破断、
0:20:43	はい。
0:20:46	規制庁の江田ですけど、足がかりに、
0:20:49	コメント託したんですけど、いわゆるロジックがおかしい。
0:20:55	なぜかっていうと、これだと。
0:20:57	今日限界は終局。
0:21:00	ともとれるので、いわゆる終局っていうかね、いわゆる
0:21:04	人生っていうことは、ある程度降伏してから、終局までに、
0:21:09	大きな変形制度があるって言ってるんですよ。
0:21:12	だけど、通常の、
0:21:15	先行サイトの取水、
0:21:18	ジョイント、また膨張てのを、今日限界の概念は、概ね弾性範囲にとどめる。
0:21:24	それはなぜかっていうと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:26	基本的に塑性化を許してしまうと、津波というのは、繰り返し作用というの大きいので、
0:21:32	どんどん塑性化が進んでしまう一度組成が、そうするとそうすると津波の、
0:21:36	繰り返しも含めて、回数も含めてですね。
0:21:40	基準津波を設定しなければならないということになりますよね。それを、皆さん先行サイトでは、そういうことがないように、基本的に塑性化は許さない。
0:21:52	ということで、検討されてますで、そちらも確か概ね弾性範囲内にするっていうコンセプトだと思うんですよね。だけど、ここで言うてしまうと、これだけ猶予がありますよっていうよりは、降伏
0:22:04	させないってことが重要になってくるので、降伏以降の話をしたところで、それは間接支持とかいうことではないので、
0:22:12	言ってる意味わかる。
0:22:14	いわゆるそこが塑性化してしまう緩んでしまえばそこから水みちができてしまいますよねってことですよ。
0:22:20	だからそういうことを考えるとコンセプト自体がおかしいと思うんだよね。
0:22:25	言ってる意味わかります。
0:22:27	だから、傍聴では、全部狂言会の協力の方じゃ駄目なんだよ。ある意味、僕だったら少なくとも降伏以下。
0:22:37	塑性化はさせない。
0:22:40	ていうのが基本的な先行サイトの実績ですよそちらも概ね弾性範囲っていう話でコンセプト全部決めてるじゃないですか。ここに来て話が、
0:22:50	いわゆる組成塑性化、塑性域に入った話をしちゃってるわけですよ。
0:22:56	だからいいんですっていうとそれで、基本的に、
0:22:59	浸水防護ってのは可能なんですかって話になりますよね。ただそこが話がずれちゃってる。
0:23:05	言ってる意味わかります。
0:23:08	だから、
0:23:10	基本的に、
0:23:11	どれだけ余裕があるかっつってもその幸福範囲の中で、
0:23:16	ここんアンカーボルトの降伏しないまでの範囲の中で、懇話会が先なのか、どう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:24	どっちが先なのかっていうことになると思うんですね。そういう説明しないと、
0:23:30	言ってわかりますよね。
0:23:31	東京東海大のヒアリングとかでいろいろ関わった参加、
0:23:38	経営者はわかると思うんですけどこれがわからないと、防潮等の設計はできないですよ。
0:23:43	そもそもの考え方だから、
0:23:46	ね。
0:23:48	言っている意味わかります。これもう
0:23:51	基準規則の中に入っていて、別記3に書いてることを言ってるんですね。それを踏襲していくと、基本的に全部それを遵守しようとする、
0:24:03	もう基本的、概ね弾性範囲にとどめるしかなくなっちゃうんでね、水みちを使わないっていうことを考えると、
0:24:11	そうするとその、
0:24:12	嘘性、
0:24:14	域に入った段階で、
0:24:16	どれだけ持ってますよって言ったって、そこまでは、基本的に担保するわけじゃなくその手前で担保しようとしているのに、その
0:24:24	今日限界を超えたところで大丈夫ですよって言ったってそれなんか説明性がないですね。
0:24:30	だから、そこはロジックがおかしいよって言ってるんです。
0:24:34	まずは。うん。
0:24:37	だから、
0:24:39	基本的な線形勾配のところの中で行っていて、靱性があるってのはその先の話ですね。
0:24:46	ただそこまでは、基本的に十分余裕があるから、間接支持としての裕度は持っているけども、
0:24:54	ね。
0:24:55	融度ってのはいわゆる、
0:24:57	それまでに
0:25:00	あれですね。
0:25:01	今回は定性的破壊って言ってるけど、靱性があるって意味がないんですね。
0:25:09	言ってるわかります。だから、
0:25:11	簡単に言うと、懇話会で言ってる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:14	操業限界と、うん。
0:25:18	バンカブル部の協力と比較して、どっちが大きいのが小さいのか。
0:25:23	ていようなコンセプトの説明。
0:25:26	でないと話が流れないんじゃないかって今日玄海は話をね。
0:25:30	そこを設計する上で、
0:25:41	北海道電力の建てたんです。例えば、8ページのステッキだとするとちょっと今、試験のやり方として今、この破壊形式を今書いてました。
0:25:51	その中で、それがアンカーで降伏させるという話をするんですけども、
0:25:56	それを安価で交付するケースを選び、その中で次のステップとして、
0:26:01	弾性範囲内。
0:26:04	で、
0:26:05	表現が決めるっていうステップなんですけどもこの8ページの表現は、
0:26:09	アンカーボルトで降伏するか今破壊するかというと、今破壊は考えない。
0:26:15	で、設計をしていますというところのページが8ページです。
0:26:21	で、ちょっと11ページとかに書くのがいいのかもしれませんがその辺の弾性範囲のケアの設計をしますというセットで、
0:26:29	書かなきゃいけなかったのかなとちょっと思いました設計としてね、破壊を省略できる。
0:26:34	理由として、
0:26:36	基本的に、
0:26:39	いわゆる前提条件が、
0:26:42	うん。
0:26:43	遠征まで考えて、人生は人生までね、考えて話をしても、おかしくて、基本的には多分、
0:26:52	うん。
0:26:54	この後の交付、次のページのフローの中の性能試験としてイメージとしては、
0:26:59	例えばアンカーボルトBの、
0:27:01	校風共同。
0:27:03	に達するか出さないか、まだ引っ張っただけ段階で、全く、
0:27:07	今回の性状は起きないという、
0:27:10	ことを証明するだけだと思っていて、
0:27:14	そうそう。それであればね、はっきり言うと、ここで何が問題かっていうと、これね、あんたの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:21	今回、見つけた状態だったらこんなことにならない。
0:27:26	いわゆるこれ、そちらからね。
0:27:29	共同としてかなり近いって言うだけで、
0:27:32	それでいった時に例えば7ページで言ったときに、
0:27:36	例えば、セメント改良度のせん断強度が2.93で、
0:27:40	コンクリート示方書。
0:27:42	関連でコンクリートとして見たとすると、
0:27:45	せん断ってというのは、
0:27:48	一緒じゃないですよ。下回ってますよねだからやっぱりそういったことで、基本的には、
0:27:54	そう。
0:27:57	土材料が入ることによって、コンクリートそのものを、
0:28:00	の挙式よりも下がってしまう。
0:28:03	て言ってることが、ここで見えてしまっちゃってるわけですよ。
0:28:07	そうするためには、多分、9ページの、
0:28:10	バンカブルの性能の試験、嘘が必要で、多分、次のページで書いてある、適用範囲外ということだけでなくこれ一致しているわけじゃないんで、
0:28:21	ある程度不安材料が、懸念材料が残っちゃってるわけですよ。
0:28:26	全く黄土等価とするのか。
0:28:30	んなってるわけではないわけだから、
0:28:32	そうすると、基本的には、
0:28:35	うん、うんうん。
0:28:39	性能試験。
0:28:40	が必須になってきて、
0:28:42	その中で、このアンカーボルトの懇話会、あとあれですよせん断方向もやるので、基本的にこの試験の中で、
0:28:50	結局その、
0:28:52	評価指標が、
0:28:53	しようって言ったらね、評価項目が決まってくる。
0:28:57	とっていて、
0:28:59	それでよろしいですかね。
0:29:01	基本的には、
0:29:03	ただ、水平方向に関してはこれはあれですよ会計式としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:10	引っ張りだけじゃなくてせん断の部分っていうのはそんな大きくないかもしれないけど、衝突荷重の大きさとそうほ。
0:29:18	当たる角度にもよるのかもしれないけど、この辺はどう考え。
0:29:29	北海道電力の松本です。漂流物の当たった角度によって高強度部とセメント改良どのしか岡目にせん断力が発生するかもしれないというところなんですけども、ちょっとまだその現状どういった応力が発生するのかっていうところも確認できていない状況ですが、
0:29:46	結果を見て適切に評価をしていきたいと考えております。
0:29:52	んなのでね、基本的には藤永最初に言った、
0:29:56	世界形態、
0:29:58	あと、それに関しての評価項目って、まだ限定はできないんじゃないかなと。
0:30:03	と思って材料が一緒だからといって、みんな一緒ではないし、その使い方によっても変わってきちゃいますよね。
0:30:10	使い方ってのはそのかかる荷重だとか、その
0:30:13	設営設置状況によっても変わってくる。
0:30:17	とっていて、
0:30:19	そうなる等をここで一義的に我々としては、
0:30:23	これでいいよっていう判断はちょっと、
0:30:24	しにくいという。
0:30:26	言わざるをえないと思うんですけど。
0:30:58	規制庁の江寄ですが構造成立性の中で、一通り計算してみて、
0:31:04	そちらが考えていることが適切だということは、
0:31:07	何らか立証大事する必要があるんじゃないすかね。
0:31:10	ただ構造成立性であると計算するわけですよ。
0:31:13	その中で考える、
0:31:16	うん。
0:31:18	必要のあるものを、いわゆる、
0:31:21	スクリーニングアウトできるかどうかっていう検討が必要なんじゃないか2日って話、それからそれはその詳細設計に持っていくという話であるのであれば、ここでは、
0:31:32	設置許可の段階では何か基本的な結論を出せないんじゃないかなとは思ってますけどね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:55	規制庁ちゃう。11 ページ開いた時にですね、ちょっと私がすごい違和感感じたのがこのAとしようが、ここでバツと決まってるじゃないすか で、この仕様だったら、この破壊しませんっていう、
0:32:06	言われると私は本当かって思ったんですね。
0:32:09	だから私今の話だと多分この資料ってまだ決まってないんじゃないすか。
0:32:14	要はこの仕様は主まずスタートラインはこれであって、アンカーボルト Bが先に壊れるように、この仕様を決める。
0:32:23	ていう、私はちょっと理解をしたけどそれと違うんですかね。
0:32:27	その通りですか。
0:32:42	北海道電力っていうのは、不二家の疑問っていうのは、いわゆる詳細設計 段階で、この仕様を、
0:32:52	大きく、
0:32:54	変わる可能性はあるんですか、ないんですかっていうことで、
0:33:05	きちっといいよと。
0:33:08	私はちょっとわかりませんこれで本当に昆破壊しないっていうのが、も しかしたら何か何かあるかもしれんけど私は理解できないです。なぜな らやっぱ試験をやらないと分かんないんだったら、
0:33:20	まず試験をやってですね私、単にロジックの話だけしてるんですよ。要 は、いくつか破壊モードがあって、この基準に基づいたら、
0:33:29	絶対降伏しないって言われてもそれを使ってちょっと私は言いたくなる んです。だからロジックはちゃんと整理しなさいよ。
0:33:36	なぜじゃあこれに基づいた細かいしなくて良いんだったら、この
0:33:40	各種合成指針の中の記載をもって、
0:33:43	しかも設計基準強度 6.5。
0:33:47	という低強度、私のイメージをもう 1 回言いますけど、例えば、土の中 にズボって、
0:33:53	ごめんなさいアンカーを入れる対象が、やばいものから固いものがあっ てちょっと頭の中でいろいろシミュレーションして、すごいやわらかい 例えば粘土とかに、
0:34:04	言ってるってもう別に細かいせずに要は付着ズボッ手抜きじゃねそれ だんだんじゃ年度かたくしていったらそれ当然今回なったりとか、そう いった、要は 6.5 というのは
0:34:16	いろんなシミュレーションがどこにあるのかとかそういうのがこれに書 いてあるんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:21	それが書いてあったらこれ書いてくださいよ。
0:35:10	労働電力の奥寺です。今、実態を言いますと、
0:35:19	と、ちょっと9ページのフローを見ていただきたいんですけども、
0:35:23	設計のフローについては、
0:35:26	試験をある
0:35:30	し、ある種、基本仕様を設定して試験をやっていきます。
0:35:34	そして、
0:35:36	駄目でしたら、もう1回仕様の再設定っていうフローになってますけれども今、はっきり言いますと我々が思っているのは、コンクリートに類似している特性を持っている。
0:35:47	と我々が考えている、セメント改良に関しましては、ちょうど公共ドロップの話置いてまず、止水ゴムの定着部の話に限定しますと、
0:36:00	コンクリート似ていると考えたときに、
0:36:03	今、11ページに示している基本仕様というのは、
0:36:10	懇話会ではなくて、安価で交付すると。
0:36:15	見通しのもと、試験を設定していると、それを確認しにいく試験、しかもちょっと言葉がですね
0:36:24	8ページで靱性まで期待しているように見えてそこは表現の問題なんですけども弾性範囲の中で、
0:36:30	その仕様がきちんと満たされているかを確認するという試験を設定している、そこをお伝えしたかったんですけども。
0:36:39	そのように今現状は考えております。
0:36:43	以上です。
0:36:44	規制庁の江寄ですか。そうするとね、もうちょっとフローチャートしっかり作る必要があって、多分この構造費用、
0:36:52	とかいったことは当然、
0:36:55	うん、見通し計算、構造成立性の計算結果にもあるんですよだそうその結果がフローで入ってきて、多分この7型の、
0:37:04	判断のところにも入ってくるわけですよ。言ってる意味わかりますか。そうそうやって行動しよう。
0:37:09	基本的に満足してるかどうかって判断があるわけですよ。
0:37:13	見通しとして、うん。
0:37:15	それはないんですか。
0:37:18	いわゆる今の状態であれば、基本的には、荒。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:23	見通しがついてるコード寸法っていうね、とかそういった話になってますよね。さっきのお話だと、
0:37:28	そそうある程度、
0:37:31	我々に提示するんであれば構造成立性の結果を踏まえてそう。
0:37:36	例えばその、
0:37:38	アンカーのかかる、
0:37:40	荷重ですよ。それが基本的にそう十分。
0:37:44	うん。
0:37:46	実験等を満足しているかどうかっていう話もありますよね。それが十分余裕があるんであればそのまま、
0:37:52	うん。
0:37:53	学校にお進みそのまま持っていても可能。
0:37:57	と考えられますよね。うん。
0:38:01	ほど荷重が大きく変わらない限りは、
0:38:09	お待ちください。
0:39:11	規制庁の三浦ですけど、
0:39:13	ちょっと何か御説明が足りないのかなっていう気がちょっとしました。
0:39:17	まず8ページで見ると、これも基本的な合成構造指針の考え方なんですよ。
0:39:22	個人性って言葉が入ってるからかえってわかりにくくなっちゃってるんだけど、
0:39:27	今回2対して、懇話会をしないように、降伏を先行させます。
0:39:34	そうすると結果的に人生があるものなんだけど設計はそこまでOSCARずに、
0:39:38	あくまでも協力で決めますってさっきおっしゃっておられたのかなというふうに私は思いました。
0:39:44	11ページでいうと、
0:39:47	こういうふうな仕様設定をしてるんですけど、一応剛性構造推進の整定値は全部上回っていて、ここは会計上をあまり、
0:39:57	懇話会の強度を大きくしないように埋め込み深さを決めたりしてある見通しを和布、
0:40:03	北電さんとして、ある見通し終えた状態で今仕様を決定されてるというふうに私は理解してます。おそらくこれですと、
0:40:12	鉄筋の航空アンカーボルトの効果が先行してくるんじゃないかなというふうに私も思いました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:18	結果的にこれが、この仕様で実験をやってみて、これで満たさないときには、グループで回す。
0:40:25	当然また、講師を変えてやっていくんだっていうふうに、全体として私は流れはそういうふうにとったんですが、その考え方ってのはどうなんでしょうか。
0:40:39	北海道電力の辰田です。今の三浦さんの言葉の通りで、
0:40:44	丸そのままの、
0:40:47	理解で良いです。
0:40:52	はい。
0:40:53	そうすると8ページの、
0:40:58	それ。
0:41:02	局所的な話から始まっちゃってて、だから、全体としてどのようなことを最初にやろうとしているのかが、
0:41:11	見通しが概要がですね、フローも含めて説明があってその部分の局所的な、加来曾根。
0:41:20	イベントフローのイベントのところは、ここですよっていう説明ならわかる。もう少しわかりやすいのかもしれない。
0:41:27	だから、うん。
0:41:29	一番最初に前提条件が全部入ってきちゃって途中でフローチャートがまじってて、
0:41:34	という話になっちゃってるから、
0:41:36	全部が単独で見てて、どこを見説明されているのかっていうのがわかりにくくなって、
0:41:44	いる。
0:41:47	だから、実際に全体的、全体のさっき言っているような話で、どのようなことをしようと、購入までにしようとしていて、実際購入の時にはね。
0:41:57	ええ。
0:41:58	どうしようとしているのか。
0:42:00	というのは、ちゃんとせず全体の流れとして説明が必要だと思うんですよ。
0:42:06	その中で
0:42:08	いくつかそ評価項目に関しては、こういった設計をするので、いわゆる、
0:42:13	複線化のアンカーボルトの降伏先行型、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:17	にする、するので、
0:42:19	要は懇話会に対しては十分な、
0:42:23	裕度を持っているので、
0:42:25	悲壮評価対象から外すことができる。
0:42:28	という話ですよ。
0:42:30	そのためには、こういった、
0:42:32	継承していくと、その中で課題になっているのは、
0:42:36	以前、コンクリート、
0:42:38	強度と同等な強度があると見込んではいないものの、
0:42:44	いわゆる、
0:42:45	コンピューター、いわゆる
0:42:48	通常のコンクリートとは違う材料、
0:42:51	土材料が混在していることにより、基本的には、
0:42:57	破壊強度、仲條で地区協働、
0:43:00	いや、阿藤から見見た上で行った時とか、実際に、
0:43:04	さっき出てきたせん断ん言ったときには、十分にコンクリートの、
0:43:10	強度は満たしていない。
0:43:13	ので、適用範囲外の部分もあるので、基本的にはその性能試験ですべて確認する。
0:43:21	というような、
0:43:22	その目的とかそういう話になるわけですよ。
0:43:25	それで基本的に全体像としてはこういうような全体像でやって、それぞれに対してはどう、どうというようなアプローチを個別にしていくのか。
0:43:34	ていうな説明してもらおうとわかりやすいのかなと思ってますけど。
0:43:41	はい。北海道電力の辰田です。衛藤、薄井間野指摘を踏まえてですねちょっとし、
0:43:48	スライドの出す順番とか足りてない部分があったり、
0:43:53	ちょっと靱性とか訂正とかという言葉もちょっと岡山の言葉もございましたので、
0:44:00	ちょっと今のご指摘踏まえて、ちょっと構成とか順番、ちょっと補足するところ、ロジック構成という意味で、
0:44:09	補足というか、修正をさせていただこうと思います。
0:44:13	はい。以上です。
0:44:17	はい。規制庁荒です。続きまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:22	ちょっとは、8 ページのところの破壊者のところちょっと、ちょっとこれから細かいところに移っていくんですけども、
0:44:32	これが今何か破壊モードっていうのワー、各種合成指針の破壊モードを記載されてるっていう話なんですけど。
0:44:39	ちょっと
0:44:41	いろんな他の文献をちょっと見たりするとですね、何か頭つきアンカーボルトの破壊モードに関しての何か文献とかあって、当然、ボールド破断。
0:44:51	あと、今回の当然なんすけども、それに加えてもう二つほどシアツ破壊シアツ社会っていうのはこの頭のところですか、そのところが、要は破壊されるというモードがあったり、
0:45:04	あとは付着破壊、これさっき私がちょっと言った、年度に突っ込んだら当然ズボッと抜けるような破壊、そういうのがちょっとありました。で、それは、これ書かれてないんですけどもこれは、
0:45:16	何かこう、何だろう、除外できる理由ってのが、これって何かあるんですかね要は、私が言いたいのは隠し合成指針に書いてあるものだけ選びましたっていうのではなくて、
0:45:27	何か今回のような特殊な設計基準強度、ちっちゃいやつに対して、北海道電力としてみずから調査し、私インターネットで普通に引いたんですけど、
0:45:38	そういうことをされてやったのか、やった上でこういった除外をしたのか、今の2点をちょっとご説明いただけますか。
0:46:11	北海道電力の千葉です。今、江藤藤原さんにおっしゃっていただいた破壊形式の二つ、シアツ破壊と付着破壊についてですけれども、
0:46:23	まず、付着破壊については、こちら各種合成構造設計指針の中で、頭つきアンカーボルトの耐力決める上では、こちら衛藤
0:46:35	主要な体力を決めるような仕様の破壊形式にはならないという旨の記載等ございますので、そこでの踏まえてこちらの
0:46:44	記載としていなかったという意図がありました。
0:46:47	ただ、もう一つ、の衛藤シアツ破壊、
0:46:51	多分引っ張りの東部の部分のシアツ赤いんだと思いますけども、そちらについては、各種構成構造設計指針で触れているところ、衛藤。
0:47:01	ございますので、記載を充実させたいと考えてございます。
0:47:10	規制庁じゃまず、今から言うことをちゃんとやって欲しいですけど、まず破壊モードを審査会合の指摘事項では、破壊モードをちゃんと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:21	出してねって言うので、うん網羅的に出してると言って、まずう
0:47:26	まず当然この指針に書いてあるものは当然出すに加えて、みずから補このなやつだとしても、調査してそれを、
0:47:36	乗った上で、まず、それをスクリーニングする過程でこの隠し合成支援を用いるだとか、ですねそういう古藤って必要じゃないですかね。
0:47:46	これ、単純に高齢なんだろう。北海道電力さんの審査の対応の然たになるかもしれないけど、ちょっとこれはきちっとやっていただけますかね。
0:47:56	いいですか、まずそこです。
0:48:01	まず言いたいのはさっき言った、少なくとも、文献を調べたことを、
0:48:06	いろんな文献を調べ、これこれだけじゃないんすよ、様々な文献をし、調べて、北海道電力破壊モードをこれだけ選んだっていう根拠を明確にしてください。
0:48:17	その上で、スクリーニングの根拠を明確にしてください。今の認定、いかがですか。
0:48:35	北海道電力の千葉です。ご指摘の内容承知いたしました。
0:48:45	はい。規制という所でちなみに、
0:48:51	いいですか。ちなみにですねAC扱いは、芦田高井やられるということでしたんですけど、付着下階を除外できるようにについてちょっと細かい話さしてください。
0:49:01	各種合成指針の適用範囲が18だけからってなってるその状況だと、玉突きだったら除外できる、これはそうですね。
0:49:11	多分各種合成指針はいろんな試験をやって、そういうのを決めるんですよって理解しました。じゃあ、泊ってどうなんですか。6.5でもそうやっていけるんですか、除外できるんですか。
0:49:21	今、このスクリーニングの話なんですけど、そこって北海道電力さんなんか調べていますかそれとも各種合成指針に書いてあるからっていう、何かお題目で、
0:49:32	スクリーニングされていますか、そこを説明ください。
0:50:14	規制庁の土岐さっきも言ったように、今、彼が言っただけではなくて、7ページのね。
0:50:21	せん断強度も2.93と3.24ということで今回に関係する、多分、
0:50:27	単純センター、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:28	いつうん。うん。もう踊ってますよね。だから、そういった形からすると、
0:50:34	その一旦そのコンクリートというその値価格、
0:50:38	反応させたものが土が入ることによって、どのような強度低下を起こすのかっていうのは、
0:50:44	明確じゃないわけですよ。
0:50:46	だから、それは、
0:50:48	結局は、
0:50:50	10 ページに書いてある越智としては、
0:50:54	設計基準強度を、
0:50:57	実際のものよりも、
0:50:59	小さくするわけですよ。確かはね。6.5 で設計するわけでしょ。でも実態としては、
0:51:07	前のページになるように、16、
0:51:12	ニュートンぐらい。
0:51:13	を目標にすることによって、
0:51:16	結局裕度を確保するしかないんだよね設計的にね、そういうふうに読めるんだけど、基本的には、十分裕度あるから、
0:51:23	適用可能じゃないのっていう話になると思うんで、その証明が多分性能試験の結果を踏まえて整理されていて、
0:51:32	いわゆる設計値としては6.5 だけど、
0:51:36	多分、
0:51:39	実際にそう立てつつ、包丁での強度は16 ニュートン以上を目指して、
0:51:47	施行され、設計施工されるあれ設計材が施工されるというふうに考えてるんですけど。
0:51:53	そういったロジックになるんですよ。
0:52:00	北海道電力奥寺設計基準強度6.5 を目指すために、いろんななんですよ。コンクリート示方書とかで、
0:52:09	うたわれているばらつき等も考慮した考え方に基づくと、こういう配合になって出てくるものの平均強度が16 ニュートンぐらいですかね。
0:52:19	そういうものになるのでそういうものを使って試験をやっていくということをお説明しています。以上です。
0:53:04	うん強度が6.5 で考えてます。実際にエコ配合されて出てくるものが、16 に言うとなにがしぐらいなので、
0:53:14	あるばらつきの範囲で、品質が確保されるというような配合です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:22	ちょっと私どもでそういう誤解していたんですけど6.5ってのは設計基準9項ではさ、設計基準強度で10ページで書いてあるけど、
0:53:31	これは設計圧縮強度ってことだよね。
0:53:34	うん。ちょっとそれ5階まで行くけど、
0:53:37	それでいいのっていうのがあるんだけどさ、だから少なくともさ、それを超えるようなものを作るっていうことは、
0:53:43	必要なわけだよね。
0:53:46	その時に、その式を性能試験せすれば、またその
0:53:52	個々のシナリオは多少性能変わるのかもしれないけど、より
0:53:57	高めに設定しないと。
0:53:59	例えば、
0:54:02	強度が、
0:54:03	取れない可能性もね。
0:54:06	それはまだやってみないとわかんないですよ。取れるという見込みを持ってるのかもしれないけど、
0:54:11	実態的にはせん断が下回ってるから、
0:54:14	基本的には、
0:54:16	通常で考えているようなコンクリートコンクリート示方書で言ってるのはコンクリートのせん断。
0:54:22	引っ張りはかなり近いけど、せん断に関しては、
0:54:25	ちょっとかなり押し何割か落ちてるんです。うん。数パーセントかもしれないけど、うん。
0:54:32	そうずっとそれ面積数2掛け算するわけだから懇話会とかね、そうすると、それなりに力としては踊っちゃうわけなんで、
0:54:40	そういったものをどういう形で担保をとるのか。
0:54:43	と思ったんだけど、うん。
0:54:46	それはまた、
0:54:48	十分じゃなければ、
0:54:52	森園。
0:54:54	をね、盛田材料の
0:54:58	設計基準と同そのものを上げ、多少上げてもらうしかないからですね。
0:55:03	そこで調整するんだろうなと思うんですよ。
0:55:29	奥寺さんが言われたのは、材料のばらつきですよ。工場材料とか、うん。
0:55:34	実際に施工するまでの過程に置いて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:37	実際そう、それで3分の1ぐらいの一番ね、5分の1でしたっけ。私だったけど、さっきの確か、どっかがありましたよね。うん。
0:55:48	生活記録64ページです。布施。正規分布ですよ。
0:55:53	そこを開くまでもなくてその話で、だけじゃなくて、
0:55:57	我々はちょっと懸念しているのは、
0:56:00	7ページに1とか、で見る限りは
0:56:05	うん。簡単な評価ではあるけども、せん断強度は、実際の方が設計、設計値よりも小さくなっちゃってますよねっていう話。
0:56:17	なので、
0:56:18	実際にはこの6.5を使うことによって
0:56:21	使うともっと小さくなるわけですよ。
0:56:25	例えばね、そういった、今言ったばらつきでもその6.5に落とすってことが、実際には6.5もあり得るっていう話なしなっちゃうんでばらつきだと。
0:56:34	0月。
0:56:35	で、私が今言ってるのは、3.24と2.93っていうのは、
0:56:40	セメント層、
0:56:42	そこ、土材料が入ると強いが、そのどんな材料で、
0:56:47	全部ケースじゃないじゃないですか、お宅地盤見てきたけど、要望書材料とかね。
0:56:53	どういうもの材料、その材料まぜる材料とかその配分量は一定にする人も材料は、土田から全部、
0:57:00	粒子の粒度分布だって全部一緒とは限らないですよ。
0:57:04	そうなっちゃうことに、
0:57:06	そういうことを考えたのです。やっぱりそういったことを言うと、
0:57:09	2.93という、
0:57:11	話だけじゃなくて、やっぱりこういう、そういったものが入ることによってばらつきも出てくるでしょうけど、不確かさも出てきてるわけですよ土が入ってきてる。ただばらつきと不確かさは違うわけだから、
0:57:24	その不確かさを、何かで埋め合わせなきゃいけないとしたら何ですかっていうと、僕は何か設計、
0:57:31	基準等で書いてあったから、6.2が、
0:57:35	6点になってええと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:39	6.55 ニュートンですが、そういうふうに取り取った瀬田より設計として安全側にシフトして設計しようとしていて、そういう不確かさもそういうもので生み合わせようとしてるのかなと。
0:57:51	と読み解いていたんだけど、
0:57:53	やっぱそこはなんかさ、やっぱり違うのであれば、何らかしかに考えていただく必要はあるんじゃないかなと思うんですけどいかがですか。話長くなりました。
0:58:29	いや、ちょっといいですか。私もね、先ほどちょっと大体こういうふうに理解しましたと話したんですけど、気になったのは2点あるんです。
0:58:36	一つは、試験っていうのはどういう、
0:58:41	何とか、コンクリートっていうか、地盤改良の圧縮強度のもとに行うんですか。
0:58:47	6.5の調合でやってやると、1060トンぐらい出ますよね。
0:58:53	そうすると、実際はただ設計基準強度6.5にするわけですよね。
0:58:58	で6.5の可能性もあるわけですよね。
0:59:01	その状態で試験をするのか。
0:59:03	調合を6.5にした状態で実強度がもっと上がった状態で試験をするのか。
0:59:09	そこにどういうふうに考えてます。
0:59:11	それが1点と、あともう1点が、
0:59:15	おそらくこれ一番厳しいのはせん断のシアツだと思うんですよ。
0:59:19	最終的には旋盤でアンカーボルト壊れるような気もするけど、し暑うで壊れるとすごく変形が伸びていっちゃうので、いわゆる弾性範囲内。
0:59:30	要するに単価ボルトは弾性範囲なんだけど、
0:59:33	変形そのものはもうどんどんコンクリートの紙はⅡが、破壊してくると、進んでいってしまうので、それをどういうふうに評価するのか。
0:59:42	D点なんです。
0:59:44	ちょっとその2点について、まず試験を、どういう強度のもとで行うんですか。
0:59:52	あと4月に関しては非常に厳しいと思うんですけど
0:59:55	健全である、せん断破壊をするっていう、
0:59:58	その判断基準ってどこに置いてますか。
1:00:01	この2点ちょっとお答え願えますか。
1:00:25	北海道電力の千葉です。まず試験を実施する時のセメント改良等の想定される強度についてですけれどもこちらについては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:35	セメント改良度の設計基準強度 6.5 ニュートンを報奨する剤 0 であろう、私が 99 試験をすることを考えており、そのときの強度については、
1:00:47	おそらく A としない失念してない技術試験の結果から見て図 16、14.5 になると考えてございます。
1:00:55	あともう一つ、
1:00:59	せん断方向の壊れ方についてですけれども、試験価値をさせ作用させるときに、
1:01:08	変位計を増設いたしまして、その衛藤、
1:01:12	アンカーの変位とか、供試体の変位とかそのあたりを見ながら、壊れ方を判断することを考えてございます。
1:01:19	以上です。
1:01:21	規制庁の三浦です。
1:01:24	お話はわかりました。二つ目は変位を必ず取ることですね。
1:01:27	それ必要です。この事件では、
1:01:30	その 1 回目の試験なんですけどそうすると一江壽が先ほど言ったように本当にね、
1:01:35	6.5。そうすると実強度が 16 ぐらい出てくる。
1:01:39	それがどんな状態でも担保できるかできないかって話になってきます。
1:01:45	ある程度協働をもうちょっと落としたようなものの試験も考えておかないといけないんじゃないですかその辺どう考えてますか。
1:01:53	衛藤電力奥寺です。その辺の考え方ってちょっとコンクリートにいた材料っていうところを前提に話しますけれども先ほど言った、
1:02:04	64 ページの正規分布みたいなもので考えたときに、例えばコンクリートで 18 ニュートンって言った時も同じ現象が、数学的とか統計的な話で起こると思うんですけども、
1:02:17	コンクリートでも例えば 30 ニュートンで配合差、平均配合されてるものが落ちていったら 18 ニュートンある時に出る確率ってのはあると思うんですけどそれと全く同じ考え方なので、
1:02:30	コンクリートと似たような材料という頭の前提で言いますと同じことをやっているのかなと考えております以上です。
1:02:57	これだってさ、それによって品質管理されてますよね。それが多分 4195 とかやってるわけで。そうずっと、全数。
1:03:08	超えないといけないわけですよ。
1:03:10	これでなきゃ全部打ち直しですよってね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:13	今、実際、基本的にそうならないように、
1:03:16	通常は、配合というか、不配合不っていうのは、
1:03:21	飛ぶ方向、大きい強度がられるように、
1:03:26	ある程度、
1:03:27	与えてますよね、鉄筋だったそうですね。
1:03:30	共同伝って、それよりも長コウフテンで大体2割ぐらい。
1:03:35	上の、上回るように、
1:03:37	なってますよね建築学会の
1:03:40	統計学的ね就業限界で出してるから見ても、
1:03:44	歴然としてるじゃないですか。ただ製造としては、
1:03:47	どうしても、
1:03:51	もう1回施行しなおしてということは考えにくいので、基本的にはある上限を決めてそれ以上に必ずなるように、1割か2割を超えるように、普通はせざるをえないと思うんですよね。
1:04:04	だから、基本的に言うと、
1:04:07	実態的には掃除し、
1:04:10	この年多分品質確認っていう話は多分話あるんでしょうけど、
1:04:15	もう、背を、
1:04:17	改良地盤のね。
1:04:19	そう。
1:04:21	工認後、工認の中で説明するのか工認後に使用前検査で施設へ確認することなるかわかりませんが品質確認試験があって、実質的に、
1:04:31	それだけのものがあるかどうかというのを確認するわけで、それが基本的に言い足りなければ、多分、
1:04:39	検査、検査課としてはもう1回、
1:04:42	満たすようにしてくださいって話になると思うんですよね。
1:04:46	うん。
1:04:49	だって、
1:04:50	ここに、
1:04:52	ね。
1:04:53	建築はされないけど、基本的にはほとんど下回るJAS法への判断に関わるものとして、
1:05:01	品質管理確認項目を下回るような施工なんかはしてないでしょ。
1:05:07	全部。
1:05:09	こういうふうにしてますよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:12	うん。
1:06:00	ていうのはさ、基本的にはそのばらつきの話もありますよね。それを見ますってのはわかってんですよ。
1:06:06	それはそれで、だけど、問題はこの2点、しつこいけどな。7ページっていう、せん断強度っていうのは一緒じゃないよねって話。
1:06:18	土がまざったことによって勝お前、
1:06:20	同じメカニズムになってるかどうか。
1:06:23	そこまでは言わないんですけど、やっぱり強度低下は否めないですよ
1:06:28	ね。
1:06:28	だから、
1:06:29	行くんだけど、
1:06:31	総務、
1:06:32	実際の目標設定と設計値と、それと実際の
1:06:38	細かいは至らなければいいわけで、
1:06:41	それは
1:06:42	性能試験の中で立証できるんだと思うんですけどね。
1:06:46	ただ総荷重っていうのがある程度見込みとして、
1:06:49	コンサバな果樹。
1:06:52	説明して、ある程度詳細設計行ってもあまり変わり言えない。
1:06:56	試験をもう一度詳細設計でもやってもいいんですよ。
1:07:00	ね。
1:07:00	もし変わっちゃったらやらざるをえないんですよ。それが多分ならないようにみんなどこもこういったことをやる上では、
1:07:08	みんなやってるじゃないですか、機器系でも。
1:07:10	いろんな
1:07:12	振動台に乗ってって言ったけど、基本的にも、それってかなり前からやっているの、
1:07:19	かなりコンサバなスペクトルの、
1:07:22	地震版に対して、基準地震動に対して、かなり大きめに設定した上で、
1:07:29	を確認。
1:07:31	加速度浮きを。
1:07:33	大城。機能確認せ、加速度って言いましたっけ。ああいったものを設定してますよね。それ多分フェーズとしては一緒だと思うんですよ。
1:07:42	だから、
1:07:43	そういったことで、ある程度大きめに設定した上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:46	やればいいと思うけど、
1:07:48	ぜひやらないんであればそれはそれで、詳細設計で変わったらもう一度検討して、する必要が出てきますよってということだけだと思います。
1:09:03	あのね、逆に言うとな。
1:09:06	僕がやるとしたら 3.24 の 5 倍して、16.2 じゃなくて、やります。
1:09:11	コンクリートと同じだって。
1:09:14	同等だっていうふうに設計するんだったらね。
1:09:16	言っでは、わかります。
1:09:19	だったら、7 ページの、
1:09:21	コンクリー精進仕様書で 16.2 をしようとして 3.24、
1:09:27	出てきて、2.93 になってますよねこの 2.93 を 3.25 にするためには 16.25。
1:09:33	あげなきゃいけないそのためには、3.255。
1:09:37	5 倍にしないといけない。それを、
1:09:39	もう、
1:09:41	CCO にするんじゃ。
1:09:43	簡単に言うと、うん。いや、
1:09:46	そうそうそう。うん。
1:09:49	せ
1:09:50	ず、
1:09:52	そうそうそうそう
1:09:55	うん。
1:09:57	そうそうそうそう。うんうん。そうすると、
1:10:00	ほぼコンクリートと、うん。一番問題であるせん断はカバーできますと。だから、
1:10:06	16.2 だけど、
1:10:08	これうんねそういうことです。だから言いたいのはわかりますよね。
1:10:13	うん。
1:10:16	ばらつきの 5% っていうのは、あくまでも
1:10:21	要はコンクリートの中で言えばコンクリート、純粋なコンクリート、
1:10:25	だけに限られちゃうんで、
1:10:27	そこに材料という不純物が入ることによってその 5% でいいのかどうかって話も出てきちゃうわけだから、
1:10:34	そこはあまり変な話、
1:10:36	繰り出せない方がいいと思っていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:38	逆に言うと、今、今みたいなコンセプトで、多少なりとも上げとけばいいんじゃないかと思っていて、うん。
1:10:58	設計基準強度は、それは6.5は設計基準空洞じゃなくて、あくまでも設計圧縮強度ですよってことです。
1:11:08	じゃなくてコンクリートですよ。
1:11:10	だから、FCということに対して、FC系なんて土木で言うとAFC系って言ってますけど、それをある程度1点んさ、ばらつき見て5%。
1:11:21	の部分って見ているのが、基本的には圧縮設計強度じゃないですか。だから、自分たちでもそういうふうに、
1:11:29	書いてますよね。84ページですか、84ページで一番左上が5064ページです、64ページの、
1:11:38	正規分布でいってる中央値のところが配合設計で、基本的にそれが、
1:11:45	F _c とかそういう部分が該当するわけですよ。で、基本的にはκ系という部分が考えてばらつきのところが、設計値っていう形になると思うんでそれが設計圧縮強度になると思うんですよ。
1:11:58	その設計、圧縮強度にしたことを聞いて、
1:12:02	基本的にはそのせん断強度とか今日せん断応力、
1:12:06	国道ね。
1:12:08	決まってくるわけですよ。それはなぜかっていうと、
1:12:12	そう、介護設計したところがその規格値なんで、設計基準強度っていうのは、
1:12:17	それに対して、ある程度そのばらつきがあるものとして保守的に設計するのが、建築も土木もなされている図。
1:12:24	設計の手法なんですよ。
1:12:28	だからそこに土の材料が入るかどうかっていう話は全然なくて、
1:12:32	ね。
1:12:33	そういったものを含めた、
1:12:35	正規分布図を作ってるわけではないので、
1:12:38	建築学会も同学科の、純粋にコンクリートですよ。
1:12:45	そこから考えたときに、
1:12:47	これを、いわゆる、
1:12:50	今やろうとしているのは、
1:12:54	改良地盤をコンクリート等に出して、見立てて設計しようとしてる。
1:13:00	だから、
1:13:01	ある程度、信頼性、信頼性だとか、共同強毒性も含めて、ある程度、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:10	コンクリート、
1:13:11	2、
1:13:12	同等な、
1:13:14	数字に持ってこないといけないんでね水準に。
1:13:17	それによって、基本的に多分、
1:13:20	コンクリート標準証書とか、建築学会でそれであれば鉄筋コンクリート製として見た根拠として一緒なんで、
1:13:30	各種合成指針でコンクリート、大津材料として、
1:13:34	設計される、その指針を使っていいというようなロジックを考えているんだらうって最初思ったんですけどね。
1:13:52	私はちょっと最初誤解していただいただけかもしれんそういう説明であれば、
1:13:56	理解はできるかなと思っていて、
1:14:00	介護でもそれなりに、
1:14:02	理解が深まると思っているんですけども含めて、
1:14:27	北海道電力の奥寺です。今ほどのやりとり等も含めて、考え方
1:14:36	整理したいと思います再度整理したいと思います。
1:14:40	以上です。
1:14:45	すいませんちょっと規制庁の三浦ですけど、ちょっとさっきの話でね。
1:14:50	だけの話は今日動特性を担保するためにはどういうふうなことをやればいかっていう話を整理しろということだと思っておりますけど。
1:14:58	その試験の時に、
1:15:00	やはり今現状考えられる調合で試験をしてしまう。
1:15:05	というよりはある程度今日動特性落としたものも、試験としては、
1:15:09	色とくべきだと思うんですよ。
1:15:14	例えばね、今ので 16.2 が出てるといって、試験でも多分、16.2 の実強度がそういう状態が出てると時点の試験になりますよね。
1:15:25	いわゆる懇話会とかってのコンクリート強度に全部依存してしまうので、やっぱりそこを担保するためには、いくつか言い方でちょっと考えていただいた方がいいと思うんですけど、ある程度、
1:15:35	今日動特性落としたものも確認をしておいた方がいいんじゃないかなというふうに思うんですが、その辺はどうお考えですか。
1:15:52	実際にね建築なんか何やってるかっていうと、そういうふうな実験契約的に 330 で、今日、設計基準強度でやってる時に 330 にするんですよ、緊張 5 にしてわざと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:04	それで実験やるんですよじゃないとそのデータにならないのでね。
1:16:07	そういうこともやるんですけど6.5まで落とす必要はないと思うけど少しその強度特性のバランス旧試験の中にどうちょっと考慮するかっていうのを少し考えていただいた方がいいんじゃないかなという気がします。
1:16:19	そうずっと説明性が上がると思いますよ。はい。
1:16:23	北海道電力の奥寺です。言い訳的なところではないんですけど今我々が設計の中で考えているモードの結果っていうのをまずとるのが重要と考えて、
1:16:34	こういう試験計画を我々なり立ててるんですけども、その傾向を見るっていうところについては、その辺も含めて、今後の対応、物の順序とかも含めて、
1:16:48	検討したいと思います。以上です。
1:16:54	規制庁森竹ですけども、多分、実験ってここで研究とか、新しい工法やるときに、
1:17:00	比較対象が必要でそう。
1:17:03	強度低下、強度を落とした場合、
1:17:05	予想傾向っていうものを把握することも必要だと思うんですけど、コンクリートそのもの、
1:17:11	と比較っても重要なんじゃないですか。
1:17:14	今黒瀬三田で設計するわけだから、それを設計に持っていくのか。
1:17:19	単にシミュレーション解析だとか、またその
1:17:22	設計式、または
1:17:25	すでにメーカーとかいろんなところでやられてる企業の、
1:17:30	実験結果を利用するかはそれはいろいろやり方はあると思うんですけど、
1:17:35	ちょっと強度がね、基本的にはそんなに。
1:17:38	改良地盤は今日出てくるわけではないので、
1:17:41	18に言うと、
1:17:44	ていうのも少ないでしょうしなかなかそれが難しいのかもしれないですけど、
1:17:48	それはどうすべきかちょっと考えていただいて、一つの方法としては、
1:17:53	もしそういう実験結果そういう意味ではI号のコンクリートがなくて、できない。
1:17:59	であれば、一つ方法としては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:03	3次元
1:18:05	COMⅢとか、
1:18:08	そういったものでも多分、
1:18:11	かなりそういう検討は、確か岡村先生じゃ前川先生か。
1:18:18	もう見え、うん。
1:18:20	うん。やってられたと思うので、そういった方法もあるでしょうし、何らしがなく、対比する方法をとった方がいいわけですね。だから、
1:18:30	コンクリートとほぼ同等の結果がえられるという、
1:18:34	ことは説明した方がより説得性が高いんじゃないかなと思いますけどね。
1:18:40	何がどこかできるまではそれはちょっとお任せしますが、こうしなさいということで、
1:19:36	北海道で、
1:19:38	電力の奥寺です。このコンクリートとの対比のやり方等も含めて、検討先ほどの検討を含めて検討させていただきたいと思います。
1:19:59	ちょっとすいません。ちょっと今までのちょっとやりとりを聞かせていただいて、ちょっと全体としてね今回のね、説明のロジックをちょっと、
1:20:11	ちゃんと組み立ててもらいたいなと思ってるんですよ。そもそも論でちょっと最初の方の振り出しに戻るとね不二家の方がいろいろ言った話。
1:20:21	他に何かいろんな破壊とかねそんなもの考えなくていいのかというところも、
1:20:26	出てたと思うんですけど。
1:20:28	ちょっとこれ仮にですけど私の方がこういう考え方あって、本来するんじゃないのっていうのもちょっとせ、ちょっと今話をします。
1:20:39	今回は、そもそも指針が適用できるよう、指針がね、適用そのままできるような状態じゃないですよと。そういった中のものを扱いますよっていうものに対して、
1:20:53	どういうふうに、斯様な通り成立するんですよっていうことを説明しようという時にですよ。
1:21:00	まず、指針が適用できないのであれば、そもそも論に立ち返って、例えば、すべての破壊モードあらゆる破壊モードを考えてその中で、
1:21:13	例えば指針が適用度教訓ツアーを中心適用してそれでおさめましょうで、適用できないところがあれば、それについては自分たちで説明証明するもしくは他の文献持ってくるとかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:25	そういったところの組み合わせによって、斯様な通り、すべての損傷モードについて検討し、ちゃんと構造成立性としてこういうふうになり立つたんですよという説明をするっていうのがまず一つの
1:21:37	やり方なのかなっていうところが、それが多分、最初の頃、不二家の方が言っていたような話で、もう一つの話としては、ある程度コンクリートに近いものを、
1:21:48	改良だね。だから、これは既存の指針を可能な限り適用をする。ただし、適用できないところについては、
1:22:00	いろんなものを要は追加で証明説明しながらそれが補えるような形で指針、極力そういうような形に持っていきます。だからこそ適用、
1:22:13	準用できるみたいなね、話をやるんですよ。だからそのためにはコンクリートと違うんだから例えば強度とばらつきだって違うんですよなんて話になっちゃった時にいや実際土がまじるから、
1:22:24	やっぱ不確かさなところが当然出てくるから、それを、を補うためには何したらいいんですか、いろんな追加試験やるんですよコンクリートに比較やるんですよとか、
1:22:35	共同として配合換えてやるんですよとか、そういったものを並べながら、指針に適用できるようなネタがそろったんでちょっと外れるんだけど、こういったネットを使えばほぼこれが使えますよってことを説明するとかね。
1:22:51	等どういうアプローチでいくのかっていうのは北海道電力の方で考えればいいとは思いますがそこら辺の、
1:22:57	大筋をしっかりとね、まず立ててもらって、じゃあ、今回、足りないところは何かあるのかそれについて足りないことをこれ、これで証明できましたそれを
1:23:07	使うことによって、成立性として、十分説明できるものですよっていうところを最初にちょっと組み立ててもらえないですか。そうしないと闇雲に実験をね、ふやしたりだとか、
1:23:19	何か余計なことを考えちゃうとか、そういう話があると思うんですよ。そこら辺ちょっとロジカルな、説明の要は順序立てフローもそうなんだろうけれどもそこを少し、ちょっと整理をしてそれを考えた上で、
1:23:36	追加の試験やるならやってみようとかね、なんかこういったところの知見の文献はコレクションしてそれを使えるんだとかねそういったことをしてもらわないと、
1:23:45	ちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:46	手が広がり過ぎちゃう。
1:23:49	時間とね、労力もそうなんだけれども、我々も数五月雨式に
1:23:55	今日の資料構成解消時期ってそういった形になっちゃってるからわからないんだけど、そういった系統立てた説明をしてもらった方がいいんじゃないかなと思いますんでちょっと、
1:24:05	検討していただければと思います。
1:24:16	北海道電力の奥寺です。
1:24:18	今我々考えているのはコンクリートに近いというような前提のもとでいろいろ考えて、
1:24:26	十分我々の考え方の順序で説明してきているつもりではあるのですがそこが、
1:24:32	大筋わかりづらいというようなところもありますので、
1:24:36	その前提のもとで
1:24:42	足りない部分なり、説明の仕方なりロジックなりも含めて、大筋のところからですね、
1:24:50	説明の仕方、整理するわかりよくなるよう整理、再整理したいと思います。以上です。
1:27:00	規制庁藤原ですとざっとサクサク行きますと、膨張例の続きなんすけどちょっと私は買い物で1点だけちょっと補足で、何だっけな9ページをちょっと見たときにですね、
1:27:12	9ページの上、黄色枠の上から三つ目で、アンカーボルトbの使用は、単体配置及び降伏となるように計画するこの計画性ってのは多分大ざっぱなのかなというところあるんすけどそれは今全部通りなんすけども、
1:27:27	ちょっと向こうに加えて単体配置、これについても計画するってなってるのでこれはどういうふうに計画するかっていうのはちょっと、一応、
1:27:35	細かく要は、全体で、破壊、
1:27:39	しないように、計画をタップするという意思だと私は理解して多分提供だとその分とは言わないような気はしますけど、そこら辺もちゃんと説明はしていただけるようお願いいたします。高いものという観点でいかがですか。
1:27:57	北海道電力の千葉です。こちらで配置につきましては、まず設計の段階で、アンカーボルトが単体配置になるっていう前提でそのアンカーボルトの配置計画をすることを考えております。
1:28:12	それは江藤、各種構成構造指針の中で、そのアンカーボルトの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:18	軍隊にならない単体配置になるような、影響範囲の考え方載っておりますのでその考え方にとって、何かの配置を考えて設計するというのと、それであとはその高い配置。
1:28:30	天田
1:28:32	担当配置になるように、アンカーの配置を検討。
1:28:37	そういう設計をいたします。
1:28:40	以上です。はい、規制庁白井です。あんまり問題にはならないと思うんですけど一応ちょっと私が言ってるのはさっき言った、前提条件の破壊モードをまず総ざらいした上で、その中で軍隊破壊っていうのが出てきたそれをどういうふうスクリーンしていくかっていうところは、
1:28:54	そういった強度とか地震とかの適用範囲の中で、ちゃんと説明できるようなそういった説明をすると、要は計画っていうのはそういうふうやっていくっていうのをちゃんとやって欲しいと。
1:29:05	言いたいんですけど、伝わってますかね。
1:29:10	いやぐ、もっとはっきりと全体破壊しないでもいい。
1:29:33	そう。
1:29:34	社会形態をいろいろ挙げてもらって、それをその設計として、
1:29:39	こういうふうな
1:29:40	設計としての配慮事項によってそれはカバーされているので、その破壊形態は消えます。多分そういうことだと思うんだよね。
1:29:48	そういうことを明確にしてくださいってことだけだと。
1:29:53	そういったことも含めて設計がちゃんともう、
1:29:57	もう安全に設計できるように心がけてくださいねって言ったのが二つ目の話で、
1:30:10	北海道電力の千葉です。承知いたしましたはいなのでその赤い型式の選び方、わかるようなハイシールにしたいと考えております。以上です。
1:30:25	規制庁宮ですけど丹高井の話は、落差は改良ってさせないようにっていうことですよ。
1:30:33	それまた試検討もまたリンクする話なので、きちっと書いといた方がいいと思います。
1:30:38	これも記載だけの話なんですけど、先ほどご説明になられた7ページで、
1:30:46	ここのロジック一番上のね、関係コンクリート使用者と同じような値だからっていう話で、もうちょっと言葉足らずかなと思ったのは、先ほどご説明されたのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:57	あの通り言えばコンクリートと同じ強度特性を持っているので、コンクリートを対象にした方撰氏に基づいて設計するっていうことを言われてましたよね。
1:31:07	それをちゃんと書いといたらいいと思いますよ、一番上に。
1:31:12	7ページの一番上これだけだと、
1:31:15	あまりこう意味が通らないんで先ほどご説明のときには、コンクリート強度特性とほぼ同じ。
1:31:21	地盤改良とかね、特性を持っていることから、コンクリートを対象にした。
1:31:27	合成構造設計指針を参考にするって、御説明並べましたよね。それをちゃんとこの上に書いておいたらいかがですかということですか。
1:31:38	北海道電力の千葉です。承知いたしました。記載充実いたします。以上です。
1:31:57	規制庁打田です。65ページを開いていただいて、先ほどからも出てるこの図なんですけど、右の方のグラフふう健全強度と、
1:32:07	30ヶ所程度のところこれは試験結果について直線をピッと引っ張って、これがね、何か設計ちいのラインも、
1:32:18	引いたらっていう話をヒアリング行ったんですけど、これ、
1:32:22	どうですかね、書いてみてはいかがですかっていう。
1:32:27	要は、実態の試験結果の、
1:32:32	S直線に対して、要は設計値はこっだけ裕度があるもんですよっていうのはちゃんと示した方が
1:32:40	いいんじゃないすかという、北海道電力の松本です。この65ページのグラフに今の設計というのを線を追記するというので、はい、承知しました。
1:32:54	はい、承知しました。
1:33:03	規制庁の伊藤です。ちょっと記載内容について確認させていただきたいんですけど、11ページ。
1:33:10	この試験滞納、仕様が書いてある表なんですけど、これは何かボルトの
1:33:18	その交付が先行するようにねらって、試験体の
1:33:23	基本仕様をこんなふうにしますっていうことだと思ってるんですけど、これのへり開きのところ、
1:33:29	仕様を設定する上での考え方。
1:33:32	1ポツで各種合成構造設計指針の適用範囲とスルーして2ポツで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:38	その最小値よりも小さくなるように設定するっていうことが書いてあってここで、
1:33:43	ちょっとこの記載自体もちょっと矛盾してるようにも見えますけれども、ここで
1:33:48	衛藤委員、アンカーボルトの予備家の3倍以下とした理由点なんですかね。
1:34:10	北海道電力の千葉です。今の江藤、ちょっと記載が足りなかったかなと思っておりまして、江藤各種合成構造設計指針の適用範囲とするというところで、
1:34:25	各種合成行動指針の適用範囲等としたヘリ開きでかつ、現在設計想定しているヘリ秋の最長周期も小さくなるように設定するということを考えておりますのでちょっとそこがわかるように書き方。
1:34:39	ちょっと修正したいと思います。ちょっと私用300円、232以下とだけ表現してしまうと、
1:34:46	ちょっとその、指針の適用範囲、
1:34:49	ていうのがちょっとわかりづらいと思いますのでちょっとそこを修正したいと考えました。以上です。
1:34:55	はい。
1:34:56	実際はこの72以上、232以下、
1:35:03	2万するっていうことなのかなとは思いますが、この小さくするっていうのはなぜなんですかね。
1:35:09	その考え方をちょっと教えていただきたいんですけども。
1:35:20	北海道電力の千葉です。このヘリ明を想定している対象地よりも小さくするというのは、実際に安全側の評価になるように、想定しているエリア系よりも、小さく、
1:35:34	東京支店作成してその時の変動強度を確認するというのをへっと考えてございます。
1:35:58	すみません、もう一度いたしますと部屋キーが設計で想定しているヘリ開きよりも、大きく通す作成して、試験を実施してしまうと、その分減り開き、
1:36:11	試験体力が大きく出てしまうと考えるので、そういったことにならないように、
1:36:18	阻止想定しているヘリ明よりも、小さく、
1:36:23	下へと試験体で試験を実施したいと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:28	はい。考え方はわかりましたので、何かその形んなぜこうしてるのかっていうところの考え方もちょっと記載していただきたいなと思います。
1:36:38	とそ
1:36:39	へ利益ってあれですよ、別にアンカーボルトBの航空には関係してこなくて、
1:36:44	破壊とかそっちの方に、
1:36:47	来聞いてくる話ってことですか、これは。
1:36:57	はい。
1:36:58	北海道電力の千葉です。衛藤。
1:37:01	こちらの部屋キーにつきましては、
1:37:05	このせん断方向のアンカーボルトの懇話会には衛藤。
1:37:10	影響しない項目と考えてましてただそのせん断方向の懇話会の体力についてはこの減り秋野へと大きさ関係してくると考えてますので、
1:37:21	その衛藤観点での項目になります。
1:37:25	以上です。はい。
1:37:28	アンカーボール等の交付食うが交付が先行するようなものをねらってこういう使用してるけども、
1:37:36	そっち他の破壊形態の
1:37:39	何ですかね。
1:37:41	ええ。
1:37:43	安全、
1:37:44	安全側になるように、こここの部分を設定したってことですから、何か
1:37:54	8 ページ。
1:38:01	多分
1:38:03	取り上げる。
1:38:05	当該っていうのは 11 ページの表ですねそういった何か思想、この確認項目で仕様を設定する上での考え方だと、さっきの 7 ページですけど、
1:38:17	8 ページの赤いものとの関係が見えないので、そこをちゃんと明確にして、どういうふうにやったか例えばエリアについても、せん断破壊しないように、
1:38:27	こういうふう考えたっていうふうなちょっときちっと明確にこの表でやってればいいんじゃないですか。
1:38:33	いかがですか。
1:38:37	ええ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:39	北海道電力の千葉です。コメント承知いたしました。この絵と、設計上の考えとちょっとこの、
1:38:46	仕様を設定する上での考え方と、とは会計士が決め方がリンクするような書き方に修正したいと思います。以上です。
1:38:54	多分ゴツチャが規制庁にまずごちゃになっちゃってこれあくまでも減り開きが小さくしたとしても、
1:39:00	8ページのアンカーボルトの降伏が先行するように、ことを確認するってことなんですよね。
1:39:08	だからそういうことをきちっと書いといた方がいいと思いますよね。あくまでもその、
1:39:13	懇話会の強度を策定するもんじゃなくて、アンカーボルトが効果破壊せん断降伏することを確認するために、減り悪意を小さくして、
1:39:23	それでも、それを保守側に実験として確認するって意味ですよね。それにちゃんと書いてあります。
1:39:31	北海道電力の奥寺です。その通りで、エリア計を
1:39:36	余裕のない状態にした上でそれでもなおアンカーが降伏する方が先行するっていうことを言いたかったのでそこがわかるように修正させていただきます。
1:39:50	うちからは以上です。
1:39:53	規制庁じゃない。続きまして今度は漂流物衝突荷重と膨張での設計という二つの項目が残ってまして、ちょっと漂流物の方を先にちょっとやりますか。
1:40:10	漂流物のやつも簡単にいきます。
1:40:17	37ページですか。
1:40:25	これ37ページこれもご存知のように先行実績だとこの横方向の所得荷重のほうが大きくなるんですよね。LS-DYNAかなんかで解いてくると、その他十分何か、
1:40:36	念頭に置いた上で、今回、設置許可の段階での構造成立性は、あくまでも何とか船首衝突
1:40:47	のものでチェックをして、工認段階ではその横方向のものも考慮した設計を行っていくっていうふうに理解をしてるんですがそれは正しいですか。
1:41:00	北海道電力の松本です。今、三浦さんのおっしゃった通りの認識で間違いありません。その辺もですね、ちゃんと書いといた方がいいと思いますね。とりあえず選手と衝突で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:13	チェックしてみて、今十分な余裕を有していると、工認段階では、横方向の衝突も考慮して構造成立性を確認するんですっていうことをちゃんと一緒にしといてください。それだけです。
1:41:26	北海道電力の松本です。
1:41:29	37 ページの表の中で衝突形態という項目で、設置許可段階では直行方向に作用させる、船首方向とは書いておりませんが直行方向に作用させる。
1:41:42	右側で工認段階においては、衝突形態の影響を検討した上で漂流物の幹と書いておりますが、
1:41:51	こちらに記載
1:41:53	はい。
1:41:54	失礼します
1:41:58	規制庁の江寄ですが、この選択としてはね、ここ女川 5600 幾つか、そういう話になると思うんですけど。
1:42:07	もっと小さくなったから、
1:42:09	で、
1:42:12	※2 は、これは翁長でしたっけ。
1:42:20	下に書いてある漂流物荷重という書いてますのは泊での
1:42:27	泊で算出した値になります。
1:42:31	わかりました。
1:42:34	基本的には船舶あるんだけど、多分
1:42:38	設計、ごめんなさい、設置許可の中で、
1:42:42	漂流物の
1:42:45	漂流するもの、対象を絞り込んでいきますよね。そんな時にやっぱりちょっと気をつけて、今書けないでしょうけど、気をつけなきゃいけないのは
1:42:55	車両ですよ、車両系のものが出てくる可能性ありますよね。
1:43:00	それに対してどうするかということと、この 2000 k N が全部それカバーできないんだけど、少なくとも私は女川では、普通自動車の衝突が 1890 トンぐらいで、
1:43:13	そういった話もあるんで、多分車両系であれば、
1:43:18	普通自動車クラスであれば、大体カバーできてるぐらいの数字だとは思ってはいるんですけど、規模感としては、まずこれから始めるけども、
1:43:29	ここに書く必要はないんだけど、今後その変わったときどうするかっていうものを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:33	今後、
1:43:35	準備はしておいてくださいって、頭の体操は言いたいのは頭の体操なんですけど、2000kNだけにこだわっていると難しい難しいもしかすると、今、県道、
1:43:45	国道国道国道ですね、国道に通過する。
1:43:50	車両、
1:43:51	とかいうものが基本的に対象になってくると、かなり大きいのは、
1:43:55	車両系、大型車両も走っているんで、それ非常に今懸念されてる大きな課題でもあるので、
1:44:03	それを見込んでここにしなさいっていうよりはそういったものが出てきたときにはどうする、どうしようというのは考えておかないと、
1:44:09	それが決まった途端に、もう、
1:44:12	記憶は、
1:44:14	その先に対応がまた相当時間かけて計画し直してことになると思うので、そういったことの、
1:44:22	あまりないように、頭の体操だけは進めといてくださいっていうことだけ言いたいんですけど、よろしいですか。
1:44:31	海藤電力の奥寺です。今後の検討の変化指導等も視野に入れながら、社内設計等を考えていきたいと思っております以上です。
1:44:46	はい。規制庁じゃないちょっと漂流物衝突荷重のところ、ちょっと三浦が今言った37ページのところに加えてちょっとセンコーの女川では同じ、今、
1:44:56	後藤船舶だとしても、エンジンの衝突っていうのがあって、
1:45:03	その要は影響するのは設工認でやればいいのかなどは思うんですけどまず一つ言いたいのはエンジンの影響というのを私はきちんと考慮しないとイケないので、もっとより大きくなるだろうという認識であります。
1:45:16	その上で、漂流物衝突荷重のこの場なんか赤文字にしました設工認の状況を踏まえて現実的な、ごめん、言葉じりだけです、現実的になって言われると、
1:45:27	なんか多分こっから下げるんじゃないかってちょっと私思っちゃうので、現実的な多分いらないですよ。要は、上記を踏まえて設工認で大きくなる場合も、
1:45:37	踏まえてちゃんとやるというふうに、ちゃんとそこは
1:45:41	考えてもらっていいですか。適切なそうですね、適切なですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:48	北海道電力の松本です。こちらの記載は修正をしたいと考えておりますが、現状衝突速度というところで流速等現状の狩野。
1:46:02	値で算出しているところがありますのでそういったところの条件を見直して、設定したいということで現実的なというふうに記載はしておりますが、ちょっと言葉は修正したいと思います。
1:46:14	はい。規制庁です。繰り返し言いますが、エンジンの衝突について私は、大仲でやったので泊でもきちっと見ると、宣言しております。
1:46:25	はい。
1:46:27	だからうんそうですねもしかしたら公共の部分をちょっと大きくしたりとかですね、そういうのが、どっか資料には書いてあったかと思えますけども、そういったものを踏まえてちゃんとご検討ください。
1:46:38	はい、じゃあ、漂流物衝突荷重は、よろしければ、傍聴ての方にちょっと進みます。
1:46:47	規制庁の三谷さんの31ページ、ちょっと幾つか確認をしたいんですけど、これ傍聴ての、
1:46:53	設置許可段階で、こういうチェックしますよって書かれてると思うんですけど、まず、この解析において、S s数の地震ほど解析があつてその残変形って残しますか。
1:47:05	津波J-R的に、
1:47:17	といたしましょうかそれとあと2番目、
1:47:22	これに二次元の動的解析。
1:47:26	動的地震音解析モデルを用いて、
1:47:29	あと津波、
1:47:32	津波漂流物の解析をやるって言ってたんですけど境界条件、
1:47:37	同じにしているように見えるんですがそれはどうですか。
1:47:42	北海道電力の松本です。1点目の残留変位を引き継ぐかどうかというのはちょっと今即答できます。
1:47:51	できませんので、確認した上で回答させてください。
1:47:54	津波時の境界条件については地震時と同様のものを今考えているところで、そうですか。これエネルギー伝達境界から粘性境界使っちゃうと思うんですけど、
1:48:06	今島根なんかで固定境界使ってますね。むしろ荷重として与えるのは固定境界の
1:48:12	リーズナブルだと思うので、その辺もちょっとご検討ください。
1:48:22	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:24	北海道電力の松元です今いただいたコメントを踏まえて境界条件等、ちょっと整理をしたいと思います。はい。お願いします。それとあともう1点なんですけど、
1:48:35	これフローチャートの中央の部分に置換コンクリートのチェックをするっていうんで、解析モデル、
1:48:44	が2次元動的FEM解析。
1:48:47	書いてあるんだけどこれは2次元静的FEM解析モデルでしょうねきっとね。
1:48:51	動的と何かモデルでして使うのと、静的静的解析のときにやっぱり静的FEM解析だと思うんですがそれはちょっと言葉じりの話はどうでもいいんですけど、
1:49:01	この置換コンクリートをチェックするときの2次元動的のAMモデルっての奥行きをどういうふうに考えてんですか。
1:49:12	不安ユニット。
1:49:14	北海道電力の松本ですこちらは
1:49:18	単位奥行きあたりで検討することを考えて、対応休憩当たりすると償却課長と船津菅です。衝撃荷重、この場合は
1:49:29	一番上の二次元断面で、
1:49:36	高さの1メートル
1:49:39	あたり、3次元ですと、1平米最下で、しますと、ご説明させていただいて、その2次元に直したときに、奥行き1メートルあたり、高さ1メートルあたりで採用しているように、
1:49:53	設定をしておりますのでこの場合2次元だと。
1:49:56	単位奥行きあたり1メートルで計算してますので、高さ1メートル範囲に漂流物荷重が当たるといような説明すると、右側に、
1:50:06	津波時の3次元のモデルありますよね。3次元で衝撃荷重に関しては、3次元的な広がりを見て集荷場にかけてるんですよ。
1:50:15	今のご説明だと、2次元モデルは大変長さにして、なおかつその1メートル幅か何かのかわかりませんがそれを消化中入れるってことで、3次元のモデルでは仮定が違ってくるっていうふうに理解したんですけどいいですか。
1:50:40	保守的ならそれでいいんだけど、ちょっと考え方が違うんですねって確認だけです。3次元のときには、3次元モデルとして地盤改良度の広がりを考えて衝撃荷重を入れています。
1:50:51	入れるチェックをするんで3次元やりますってますよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:54	2次元のときには、奥行き方向で、衝突荷重を1メートル幅がないからわからないけど入れる出すって言うてるんですよ。そうすると1メートル幅の中に、衝撃荷重フルを入れてくるんになりますよね。
1:51:06	だから、3次元モデルと二次元モデルでは仮定が違うっていうふうに理解したんですがそれが正しいですか。そう。そうですね、ちょっと考え方は全く一緒ではないと考えております。
1:51:18	距離物荷重については直接的に
1:51:21	置換コンクリートには作用していないので、その影響は、
1:51:27	もうほぼないだろうというふうに考えていて置換コンクリートは二次元で評価するというようなシナリオにしております。
1:51:35	わかりました。ちょっと今言ったように残留変形の話とかあと粘性境界、あと固定境界の話、あと、今言ったように次年度3次元のモデルの考え方、ちょっとこれだけでは説明が不足してると思うので、
1:51:47	もうちょっと詳細にどうやるかっていうのは、まとめ資料でも何でもいいんですけど、ご説明ください。
1:51:55	北海道電力の松本ですね承知いたしました。はい。お願いします。それと109ページ。
1:52:06	これ津波Gにもですね、これを見ると、
1:52:11	解析条件のところで、一番下のね。
1:52:15	上の四角の物性のばらつきを考慮しますって書いてあるんですが、これ津波時の物性の場で、地盤物性のばらつきって考慮されるんですか。
1:52:28	そうですね109ページですね。
1:52:31	109ページの四角の一番下、解析条件。
1:52:35	地盤の物性のばらつきを考慮しますって書いてあるんですけど、これはやられるんですかっていう質問だけです。
1:52:59	北海道電力の松元です。現状考えていましたのは、地震時において地盤のばらつきを考慮した検討をした上で、照査値にばらつきが出てくると思いますので、
1:53:12	その照査値のばらつきを考慮して津波時の照査値を見て、
1:53:17	ばらつきをかけて、照査
1:53:20	値を満足してるかどうかというところを確認しようかと考えておりましたそうですね別にばらつきを考慮するのは全然構わないんですけど、ちなみに、地盤物性のばらつきって非常に影響したくないので、
1:53:30	無理して全部やる必要はないのかなというふうに思ったので、
1:53:33	これも含めてご検討ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:37	ダイドー電力の松野で承知しました。はいそれと 158 ページ。
1:53:45	158 ページの、
1:53:53	ここもね、ちょっと気になったんですけど、下の四角、表のところですよ。地盤物性のばらつきって書いてあって、設置許可段階では剛性を解析を物性値。
1:54:07	この剛性を解析用物性値にばらつきを見るってどういうことなんですか。
1:54:14	右側ではね工事認可段階では、±ワンシグマ見やすいようって書いてますよね。
1:54:19	設置許可の時にこれ、どうされるんですかっていう質問だけです。
1:54:24	北海道電力の松本です。
1:54:27	工認段階ではばらつきを考慮した計算というのは必須だと考えております設置許可段階においては、
1:54:37	ばらつきがあったとしても成立するということを説明するためにばらつきを考慮した説明、結果説明が、成立性が見通しがあることを説明が必要だと考えておりました、
1:54:48	何をするかといいますと±1σの地盤物性のばらつきを持たせた結果を、持たせて評価をするということを考えてます。わかりました。だからこれも同じなんですね。工事認可と一緒に、
1:55:03	どの程度の会社ケースがあるかどうかは別として±ワンシグマのばらつきは考慮しますってことですね。今日ちょっとそういう委員会としてはいいと思います。北海道電力の松本です。承知いたしました。はい。私から以上です。
1:55:22	規制庁の伊藤です。江藤さん 10 ページ。
1:55:31	30 ページから 32 ページ辺りをちょっと開いていただきたいんですけども、ちょっと説明の仕方だけなのかもしれないんですけども、
1:55:39	包丁ての標準部で、その 3 次元、火江藤協力者の衝突荷重、津波荷重、
1:55:46	これセメント改良では公共道具に、の詳細の中では、3 次元を使うっていう理由が、
1:55:53	30 ページの四角の中では、
1:55:58	局所的に作用する漂流物荷重の影響精緻に考慮するためと書いてあって、
1:56:04	包丁ての端部の方では、32 ページですけども、
1:56:09	その汀線方向に短いから、2 次元っていうことを書いて説明されてると思うんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:15	ちょっとその繋がりがよくわかんなくて、教えていただきたいんですけども。
1:56:20	衛藤。
1:56:21	3次元を用いる理由は先ほどの局長的に作用する漂流物荷重を、
1:56:26	精緻に考慮しているのであれば、
1:56:29	何、何で端部が定性方向に短いという理由でこ排除してるのかが、
1:56:34	ちょっとよくわかんなかったんですけどそこをもう少し丁寧に教えてもらえますかね。関係性というかロジック。
1:56:40	あと北海道電力の松元です。端部につきましては、標準ほど汀線方向の長さが長くないので、
1:56:50	局所的に、
1:56:53	作用する荷重に対しての
1:56:57	長さが短いので、2次元で評価すると言ったので、ちょっと簡単に言いますと標準部は、長い直線のものに対して局所的に当たるので荷重の分散を考慮した設計をしようといったところです。
1:57:11	端部につきましては、汀線方向の、
1:57:15	長さが短いので、局所的に作用するのも、ものも、そのまま二次元で評価しようといったところですが、ちょっと精緻に評価しようとなると、端部も、
1:57:28	3次元で評価した方が精緻な評価になるのかなとは考えておりますので、ちょっと工認段階で、
1:57:37	3次元で評価することもちょっと検討したいと考えております。
1:57:52	北海道電力の松本です。端部についてはその通りでございます。
1:57:57	はい。規制庁の伊藤です。
1:57:59	おっしゃってることわかりました。
1:58:02	これについては以上です。わかりました等ございます。
1:58:06	区長。今の伊藤のやつはもうちょっとロジックがちゃんといや、きちんとした方がいいんじゃないですか。要は二次元で評価した方が保守的なものについてはそのままやる。
1:58:16	ただ、保守的にやらないもの、いろいろ精緻にやって、より
1:58:22	合理的な設計だけど高強度とか標準かな。設計したいところは、3次元ですとか、そこをちゃんとロジックを明確にして、モデルの使い分けはこういうことなんですっていうのは書かれてはいかがですかと。
1:58:36	ダイドー電力の松本ですと、コメントの趣旨承知しました。
1:58:42	はい。今の対応で結構でございますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:47	あと後もう1点だけですけども98ページ。
1:58:53	構造成立性の評価断面の候補の候補断面の抽出のところなんですけども、
1:59:01	右に表がありましてええと、
1:59:07	この2、
1:59:09	2、2グラム断面ですか、は、この現場から岩盤までの高さが高いところを選んでますっていう、この指定の範囲において、
1:59:19	書いてあってこれって、最も高いっていうことでいいんですかね。おく一の断面も一緒なんですけど、
1:59:30	北海道電力の松本です。
1:59:34	2-2断面につきましては、12号放水炉から3号市勢力間において、天端高さが高いと書いておりますが、全体を通して見ても2-2断面が最も高いというふうに考えております。
1:59:49	そうであれば、いちいち断面では最も深いっていうような書き方もされてるんで、なぜその市、この区間において、この断面が、
2:00:00	抽出されたかっていうところがよりわかるように、最もなのであれば、それを記載していただきたいなというのが1点目です。
2:00:08	あと、この向後断面の抽出において、観点の、
2:00:13	ええと97ページで書いてある観点の④。
2:00:16	周辺状況の隣接構造物の中の、道路毛利井戸。
2:00:22	ここの整理結果で森土木この道路モデルが近接している箇所があるため、ここ断面の選定が必要であるという古藤が記載されていて、
2:00:34	それ、
2:00:35	その生リーを踏まえて抽出した結果が、7断面で
2:00:42	98ページに書いてあるんですけど、
2:00:44	その理由が、盛井戸道路が高いっていう理由なんですね。
2:00:52	先ほどの観点、97ページで書いてある観点が、
2:00:56	観点で見ればその最も近接しているところっていうのは候補の断面に入っていないんですか。
2:01:03	結局7に包絡されるとかいうのは、
2:01:07	あとでのスクリーニングの話だと思うんで、こうこう断面として最初に出てこないんですかという質問です。
2:01:15	当北海道電力の松元です。広報断面としては、まず着目すべきは最も近接したところかなとおっしゃる通りかなと思います。もう最も近接したところだと、7段目よりちょっと下のところにはなるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:31	7断面を選んだという背景としましては、近接しつつ、かつ、友利の高さの高さが最も高いところを選んで、背面の動圧が大きいだろうというところを選定しております。
2:01:44	それがわかるようにこの7断面を選定した理由を、抽出理由のところに追記することで対応させていただきたいと思います。
2:01:55	次長の伊藤です。
2:01:57	T
2:01:58	真穴なんですかねその広報断面としては出てきて後のスクリーニングでそれが、なだめの稼働率が高いだろうというスクリーニングの何か流れなのかなと思ったんですけど。
2:02:12	最初から、
2:02:15	何ですかねもう明らかに7断面の方が、一つが、
2:02:20	あるっていうふうに言い切れるんですかね。
2:02:27	北海道電力の松本です。
2:02:29	窓圧を比較した結果7断面を選んでおりますので、高さがあるということも踏まえて選んでおりますのでその選定過程もわかるように、
2:02:45	資料に記載するというのでよろしいでしょうか。
2:02:48	はい流れが、向後断面というのは多分網羅的に出していただいてそのあとで、その区間において、この断面が、
2:03:00	何ですかね、代表できているっていうのをいえる。
2:03:04	言っていることがわかるような資料にさせていただきたいというのが趣旨ですので、よろしいでしょうか。北海道電力の松本です。承知しました。
2:03:15	はい。私からは以上です。
2:03:22	規制庁の土岐ですがこの97ページの一番下の隣接構造物で、
2:03:27	いわゆるちょっと言葉がちよっとあれなんですけど、一番下んのところで、構造健全性評価により損傷しないように設計するため、
2:03:37	駄目セットは、
2:03:39	不要とした。
2:03:41	ていうかこれは、許可段階では不要としてるんだよね。
2:03:46	で、いわゆる、
2:03:48	前のページも言わないけど、時間が遅いから、
2:03:51	補強しようとしてるんだよね。
2:03:55	で、確認するっていうのは、バックチェック的だからそうではなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:59	対策を講じる可能性があれば、退職するって書いてるんだから、その設計なんだよね。
2:04:05	だから、
2:04:06	ロジックとしては、
2:04:08	いわゆるしないように設計するため、まだ、
2:04:13	詳細設計段階行かないとわからないんですよ、その設計は。
2:04:18	なので、
2:04:21	今回、
2:04:22	ようは不要とするのではなくて、いわゆる、
2:04:26	設置許可では、検討できないので、
2:04:29	詳細設計段階で検討。
2:04:31	そして今回の候補から省くということですよ。
2:04:37	北海道電力の松本です。今相崎さんのおっしゃった通りの認識です。多分ここはちょっとあまり誤解されないように、しっかりちゃんと丁寧に書いた方がいいと思う。
2:04:53	北海道電力の松本で承知しました。
2:04:57	設計駄目がちょっと外れるんですけど、その後の
2:05:02	改良地盤の
2:05:04	話で、
2:05:08	59 ページですか、この記載っていうのはあれですかね、ちょっと確認ですけど。
2:05:16	いわゆる、
2:05:19	58 ページでは、ある程度この設置許可段階で資材配合試験によって設計値を大野、
2:05:27	妥当性を確認した。
2:05:29	という流れになってるじゃないですか 58 ページ、59 ページはあれですよ
2:05:33	ね。
2:05:33	これはその実際の、
2:05:35	施工後のことを書いているのかなと思うんですがそれで間違いとか施工後のその品質確認。
2:05:42	治験のことを言ってるのかなと思って、それとは違うんですか。
2:05:46	59 ページの記載のことでしょうか。北海道電力の松本です。59 ページの記載につきましては、室内配合試験の結果を踏まえて考察をした内容となります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:03	書いてあるのが、多分二つ目のマルが長期のことからセメント改良の物性値はコンクリート同様に線形精度設定して品質管理はってね、品質管理だから施工の話で、
2:06:15	品質管理は一次家畜強度を基本とする方針であるというふうに書いてあるんですが、ここは打撲と言ってるのはここなんだけど、すみません、北海道電力の松本です。そちら品質管理につきましては、
2:06:27	工認段階等になるかなと考えておりました、
2:06:45	すみません 60 ページをお願いいたします。
2:06:51	60 ページのところで投票で、設置許可段階工認段階あと使用前事業者検査段階で何をやるかというところで一番下の品質管理方針のところで記載をしておりますが、
2:07:04	非設置許可段階では、コンクリートと似た性質であることから一軸圧縮強度を基本として工認段階で品質管理方法の詳細を説明するとさせていただいております工認段階で、
2:07:15	施工試験を実施する予定ですので、その日、それを踏まえた浸出仮、
2:07:20	管理方法を説明させていただきたいと思っております。
2:07:24	規制庁の江崎です。多分ですね。
2:07:27	この品質管理項目として一軸圧縮強度。
2:07:31	というのは大体どのサイトも一緒だと思うんです施行後の品質管理として、
2:07:36	いわゆる一番立米だけ 2 万立米貸せたけど、2、
2:07:41	不安ロードっていうか、そういった話で、確かなってると思うんですよね。
2:07:45	がんセンターか何か出してるマニュアルによると、まあ、そう。
2:07:50	大体皆同じような話でやると思うんですけど、それは、
2:07:57	例えば 1 後は、1 バッチごとにやるかって話ありますけど、そういったものに関しては給油っていうのは使っているんですが市橋 9 度、
2:08:06	ただそれだけではなくて、
2:08:08	もうかなり頻度を落とすけども、例えば、
2:08:12	PS 検層、
2:08:13	とか、
2:08:14	京都、
2:08:15	に関しても、一応、
2:08:17	確認をしてる。
2:08:20	で使用前検査を受ける。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:21	そういったシナリオになっているんです。今、
2:08:25	世古主席その辺はですね、今日至ったのは、
2:08:28	まだそれは、詳細に関しては、
2:08:32	工認段階でいいんですけど、その辺は、
2:08:36	1.6 と今どこも踏まえて、
2:08:38	情報収集した上で
2:08:42	そちらの方で何をすべきかとは考えていただきたいという準備を進めて いただきたいということだけお伝えしときます。以上です。
2:08:51	北海道電力の松本です。今いただいたコメントも不承知しまして、今後の 検討を進めていきたいと考えております。以上です。
2:09:05	はい。衛藤規制庁します。私の方から1点だけ言うと83 ページを開い ていただいて、
2:09:12	83 ページのこの表の下の※2 で、
2:09:15	赤字で追加されたコミュニティですね、この
2:09:19	これ高強度部の高強度部とセメント改良度との境界部の評価の方法につ いてを、アンカーボルトからこれは多分、
2:09:32	せん断が摩擦以下であることを評価するって、これって何か止水目地 時って何か、この摩擦って使ってなかったような気がしますけどこれ は、こっちの方は何か摩擦力、
2:09:43	ああいう多分ジョイント要素か何か使う。
2:09:45	ことですかこれ。
2:09:47	要はシステムと何か条件変えるんですかっていうところだけ聞きたかつ た
2:09:55	と北海道電力の松本です。止水目地とあと条件が悪となるというところ がありまして、この公共道具の津波時の挙動につきましては、
2:10:05	公共道具がセメント改良度側に押さえつけられるような挙動になりま す。それに対して、止水目地につきましては、波力がかかったときに市 制イメージ、姿勢明示コンクリートとセメント改良度が、
2:10:19	引っ張って、
2:10:21	引き離されるようなモードになります。そのような共同の違いがありま すので、ちょっとその設計方針の違いはあるかなと考えております。
2:10:39	聞いた上で、今の話どっか書いてますかねそういった、
2:10:43	考え方の間違いというか、さっきの、なぜこの摩擦以下であることを 評価するという、ジョイント予想に使う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:51	北海道電力の松本です。91 ページに作用荷重と挙動の考え方というところ、塚で実施して、ご説明させていただいております。
2:11:05	規制庁、ごめんなさい、考え方じゃなくていうとモデルのジョイント要素を使いますとかいう、圧力を使いますっていうそういった考え方ですね。
2:11:30	北海道電力の松本です。ちょっと今の資料ではそのような記載がないので、わかるように、
2:11:40	資料を今後反映させていただきたいと思います。はい規制庁志田です。わかりました。この今回の先ほど※2 の記載を今回の会合から追加されるということであればその考え方は、
2:11:51	今後説明するのにちょっと軽く追記をいただいて、また次回
2:11:56	その考え方を明記いただけるようお願いいたします。いかがですかね。
2:12:03	北海道電力の松本です承知いたしました。
2:12:08	はい。その他全体を通じて確認と上で参加の方も含めていかがでしょうか。
2:12:17	はい。では北海道電力の方から確認したいことございますか。
2:12:28	ございません。
2:12:29	はい。規制庁藤原です。ちょっと時間を超えてしまいましたが、今日のヒアリングについては以上とさせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。